

事業所名

ぽぷらの樹 平野

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

1月

17日

法人（事業所）理念		笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ									
支援方針		自分を大切にしながら思いやる心を育てる									
営業時間		第1単位 第2単位	12 9	時 00	分から	18 15	時 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	来所後、体調確認を行い、健康状態を把握。水分補給を30分毎行っていく。 集団行動だけでなく、食事マナー・トイレトレーニングをおこなう。									
	運動・感覚	ダンスやマット運動・サーキットで体力や体の柔軟性を向上させる。 工作や感覚遊び（粘土やスライム等）で指先の巧緻性を高める。 理学療法士の作成したプログラムの下、身体機能を向上させる。									
	認知・行動	スケジュールを可視化し、見通しをたて気持ちの切り替えをスムーズにする。 ABAを用いて、適切な行動に促していく。 行動障害の予防、適切な行動への促しを行っていく。									
	言語 コミュニケーション	発語の無い児童に対して、イラストカードやジェスチャーなどをつかって発語練習。 自分の意見の発信が難しい児童に対してはスタッフが気持ちの聞き取りを行い適切な伝え方を促していく。									
	人間関係 社会性	他年齢のお友達と関わる中で人との距離感を学ぶ。 SSTやロールプレイを通して社会的マナーも身につけてもらう。 買い物体験を通じて、金銭感覚やお金の価値を身につけてもらう。									
家族支援		半年ごとに保護者面談を実施し個別支援の計画、共有 また日々の生活で出てくる悩みの傾聴・助言。保護者様のレスパイト支援。				移行支援		系列作業所体験を月に1度実施、進路相談の定期開催。希望があれば随時対応			
地域支援・地域連携		進学先、就職先との定期的なケース会議 送迎時も学校や園の先生方と密に取っています				職員の質の向上		外部講習（強度行動障害、アンガーマネジメント、SST）の受講			
主な行事等		調理実習、ダンス、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス・初詣・正月遊び、作業所体験、発表会、サッカー大会、工作、センサリーマット 集団遊び（鬼ごっこ、ドッジボール、しっぽ取り、いす取りゲーム、フルーツバスケットなど）パラスポーツ（モルック・ポッチャなど）									